

## 「第24回参院選立候補予定者へのアンケート」結果について

「道民の会」は、7月10日に行われる第24回参議院選挙に立候補を予定している方5名に「子どもと教育・文化に関するアンケート」を行いました。その結果について、この会報とホームページでお知らせします。

アンケートの項目や回答は以下の通りです。

5名の予定候補のうち、6月19日現在で回答をいただいた方は、民進党鉢呂吉雄さん・民進党徳永エリさん・日本共産党森つねとさんの3名でした。自民党長谷川岳さん・自民党柿木克弘さんからは、回答がありません。アンケートを6月10日各選挙事務所にお届けし、一週間後の6月16日までに提出していただくことにしていました。また、提出期日後の17日にもあらためてお願いもしましたが未回答です。とても残念なことです。

### 【アンケート項目と回答】

1. 憲法を改定する議論が、おこなわれていますがどう思いますか。

- ①改定する必要がある。
- ②改定する必要はない。
- ③どちらともいえない。

#### 【回答】

**民進党鉢呂吉雄さん (2)**

コメントなし

**民進党徳永エリさん (2)**

9条の改正で軍隊保持と武力行使の縛りを解き、緊急事態条項創設で人権や立法を制限して行政権を拡大し、内閣の意向で「自由に戦争できる国」にすることは、子どもたちのためにも絶対に認められません。

**日本共産党森つねとさん (2)**

憲法改定は、安倍政権の特定秘密保護法、「集団的自衛権行使容認」、安保法制＝戦争法等の反動的な政治を完成させ、憲法を戦争と独裁、抑圧の道具にし、日本を「戦争する国」に変えるもので反対です。憲法9条を生かした対話と強調の平和外交をすすめます。

2. 参院選の大きな争点のひとつとしてあげられている、集団的自衛権行使容認を含めた「安全保障関連法」について、どのようにお考えですか。

- ①国際情勢を考えると、当然必要である。
- ②憲法の解釈を一方的に変える違憲な法制であり、廃止する必要がある。
- ③どちらともいえない

**民進党鉢呂吉雄さん (2)**

コメントなし

**民進党徳永エリさん (2)**

集団的自衛権の行使容認を時の一内閣が認めるというのはありえない事態です。安全保障関連法の成立過程も問題があり、廃案にするのが筋だと考えます。

**日本共産党森つねとさん (2)**

安全保障関連法は違憲であるとともに、力には力をとの政治で、これがテロと戦争の連鎖の繰り返しと拡大を生んでいることは、歴史が証明しています。国と国との紛争や対立は、対話と協調の外交的解決に徹し、憲法9条をそのために生かすべきです。

3. わが国が『子どもの権利条約』を批准して22年が経過。2012年、国連子どもの権利委員会は、日本政府に対して3度目の最終所見（91のパラグラフに及び）を行ったが、この条約と「最終所見」が一層生かされるためにはどうしたらよいと思いますか。

**【回答】**

**民進党鉢呂吉雄さん**

民主党政権は「子どもの権利条約」を基本に、チルドレンファーストを掲げ、子ども手当、高校授業料無償化等を進めようとしてきました。政権交代で起きていることは、条約実現への更なる後退であることが遺憾です。

**民進党徳永エリさん**

子どもの権利を保障するための法も含めた制度検討が必要だと考えます。子どもの貧困対策推進法による対策なども進められていますが、対処療法ではなく、子どもが何を望んでいるか、意見をくみ取る仕組みが必要です。過度な競争や格差を生む経済政策の是正、教育や労働、社会保障の基盤を整えなければなりません。

**日本共産党森つねとさん**

全国学力テストの公表など「子どもたちを過度の競争にさらす」ことはやめます。また、教育委員会制度改悪をやめ、子どもの意見が学校づくりに反映でき、子どもが地域の一員として位置づくような生徒と保護者、教職員、地域の関係をつくります。

4. OECD加盟国中最下位の教育予算（GDP 比率）となっているが、このことについてどう思いますか。

- ①財政状況が厳しい中でも、増額に努める（予算比率を高める）必要がある。
- ②財政状況を考慮すれば、現行程度を維持することで十分である。
- ③どちらともいえない。

**【回答】**

**民進党鉢呂吉雄さん (1)**

コメントなし

**民進党徳永エリさん (1)**

35人学級やICTの活用、教育格差の解消のための授業料無償化など、教育をめぐる必要な施策は多々あり、予算を増額して対応すべきと考えます。

**日本共産党森つねとさん (1)**

「税金は社会保障と若者、子育てに優先して使う」政治に改めます。そうして、大企業や富裕層への優遇税制を元に戻せば、消費税増税なしで教育予算は増額できます。正規雇用があたりまえの社会にして経済成長をすすめ税収を増やして、更に増額します。

5. 子どもの人数が減少する中で、全道各地で学級削減や学校統廃合が急激に進んでいることについてどう思いますか。

- ①ある程度の学校規模が必要であり、すすめることについては賛成である。
- ②地域の活性化も含めて、地域の学校をなくすことには反対である。
- ③どちらともいえない

**【回答】**

**民進党鉢呂吉雄さん (2)**

コメントなし

**民進党徳永エリさん (2)**

通学にかかる負担や住み慣れた地域の文化や住民との交流も含めて「学ぶ」という視点から言えば、経済合理性で統廃合を進めるのは反対です。懸念に対しては、ICTを活用したり、集団活動が必要な際だけ移動するなどに対応できると思いますし、逆に少数だからできる教育もあると思います。

**日本共産党森つねとさん (2)**

学校の規模や配置は、子どもの教育にとってど

うかを第一に考えるべきです。登下校時の安全や登下校の子どもへの負担、放課後の遊びや自主的取組み等地域毎で違います。財政的、機械的な統廃合はやめ、父母、住民も参加した総合的な検討と合意が必要です。

6. 「給付型奨学金制度」や「授業料（学費）の無償化（軽減）」（私学助成の増額等も含めて）など誰もが安心して学べるように、「教育の無償化」の方向をめざすことについてどう思いますか。

- ① 現行制度を維持すべきである。
- ② ある程度の「無償化」は必要だが所得制限などを設ける必要がある。
- ③ 「無償化」は必要なことである。
- ④ どちらとも言えない

**【回答】**

**民進党鉢呂吉雄さん (3)**

コメントなし

**民進党徳永エリさん (3)**

家庭の所得や環境を問わず、必要な教育が確保されることは子どもの権利であり、「無償化」が必要だと考えます。

**日本共産党森つねとさん (3)**

OECD30カ国中「授業料が有料で給付制奨学金がない」のは日本だけ。先進国では無償で教育を受ける権利の保障が常識です。大学授業料を毎年引下げ、10年間で半額にします。また、月額3万円の給付制奨学金70万人分創設します。

7. 日本の「子どもの貧困」（貧困率16.3%、北海道は19.7%都道府県ワースト5）をめぐる課題についてについてどう思いますか

**【回答】**

**民進党鉢呂吉雄さん**

労働条件の劣化が家庭の貧困を招き、子どもた

ちを追い込む悪循環が加速しています。家庭の所得状況で子どもの生活や学習、進路が左右されないように、児童扶養手当の充実、給付型奨学金創設、居場所づくりなどが急務です。

**民進党徳永エリさん**

子どもの貧困は喫緊に解消しなければならない課題だと思います。雇用を含めた経済環境の改善や「北海道子どもの貧困対策推進計画」の推進はもちろんです。北海道においても当事者たる子どもと親への調査を実施し、実態の把握とニーズを踏まえた、より効果的な施策を検討すべきです。

**日本共産党森つねとさん**

2013年に「子どもの貧困対策法」が成立しましたが、その後も悪化を続け、年々深刻になっています。この要因になっている安倍政権の雇用破壊と社会保障削減の政治をやめさせます。緊急に、生活保護と児童扶養手当の充実をします。

8. 今回の参院選から「18歳選挙権」が実施されます。また学校では「主権者教育」が本格的な始まっています。高校生の政治活動について「禁止」「届出」などの動きがありますが、このことについてどう思いますか。

- ① ある程度の規制は、必要である。
- ② 「禁止」「届出」などは、行うべきではない、必要ない。
- ③ どちらともいえない。

**【回答】**

**民進党鉢呂吉雄さん (2)**

コメントなし

**民進党徳永エリさん (2)**

18歳の若者たちに選挙権を付与しながら、政治活動を規制するのでは、「主権者」足りえず、全く理解できません。

**日本共産党森つねとさん (2)**

18歳選挙権は、高校生が政治を自由に語り、行動

することが民主主義を根づかせる重要な課題であるとして実現しました。届出制は生徒の政治的考えを明らかにさせ内心の自由を侵す重大な憲法違反です。また、活発な議論を狭め 18 歳選挙権の趣旨に反します。

9. 日本の教育にとっていま何が一番必要だ  
と思いますか。記述でお願いいたします。

#### **【回答】**

##### **民進党鉢呂吉雄さん**

学習能力、運動能力とテスト至上で子どもたちも先生たちも大変です。子どもたちをその特性に応じて、のびのびと育ていける環境づくりが大切です。

##### **民進党徳永エリさん**

子どもたちに寄り添い、その力を信じる心ではないでしょうか。子どもの言い分をしっかりと聞いて、権利を守る、対応する大人としての責任です。ややもすると、子どもたちが望むと望まないにかかわらず、大人の視点でものごとを考え決めていることを省みたいと思います。

##### **日本共産党森つねとさん**

世界最低水準の教育予算の引き上げて、重すぎる教育費負担を軽減すること。ゆきすぎた競争主義をなくすること。「上からのしめつけ」をやめて、子どもの権利と教育の自主性を保障すること